

Symphony

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

2021
MARCH

Niigata
Special Concert

Sun. 21st March

No. 688

Sat. 27th March
Subscription Concert

3



Jonathan Nott, *Music Director*



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

音楽監督	ジョナサン・ノット
桂冠指揮者	秋山和慶 ユベール・スダーン
名誉客演指揮者	大友直人
特別客演指揮者	飯森範親
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス ◆ 上田 仁 ◆ 遠山信二 ◆
名誉コンサートマスター	大谷康子

コンサートマスター	グレブ・ニキティン 水谷 晃
アシスタント・ コンサートマスター	田尻 順 廣岡克隆

会 長	横川 端
理事長	澤田秀雄
副理事長	平澤 創 依田 巽
専務理事	大野順二
常務理事	辻 敏
理 事	阿部武彦 永山 治 池辺晋一郎 夏野 剛 伊藤美樹 南部靖之 大橋 博 福川伸次 岡崎哲也 藤原 洋 庄司 薫 増岡聡一郎 竹中平蔵

監 事	磯村文靖 寺西基之
-----	--------------

評議員長	金山茂人
最高顧問	梅沢一彦 西村 朗 鷺海量明 星 久人 片山泰輔 山添 茂 加藤英輔 横川 竟
特別顧問	飯島延浩 草壁悟朗 福田紀彦

【ハーブ寄贈：環境ステーション株式会社】

1st Violins

- 木村正貴
- 堀内幸子
- 小川敦子
- 加藤幸子
- 立岡百合恵
- 土屋杏子
- 中村楓子
- 森岡ゆりあ
- 吉川万理

2nd Violins

- 清水泰明
- 服部亜矢子
- 坂井みどり
- 加藤まな
- 福留史紘
- 阿部真弓
- 河裾あずさ
- 塩谷しずか
- 鈴木浩司
- 竹田詩織
- 渡辺裕子

Violas

- 青木篤子
- 武生直子
- 西村真紀
- 多井干洋
- 山廣みほ
- 小西応興 ●
- 鈴木まり奈
- 永井聖乃

Cellos

- 伊藤文嗣
- 川井真由美
- 謝名元 民
- 蟹江慶行
- 樋口泰世
- 福岡茉莉子 *

Double Basses

- 回 助川 龍
- 北村一平
- 久松さず
- 安田修平
- 渡邊淳子
- 笠原勝二

Flutes

- 相澤政宏

Flutes & Piccolos

- 高野成之
- 濱崎麻里子

Oboes

- 荒 絵理子
- 荒木奏美

Oboe & English horn

- 最上峰行

Clarinets

- エマニュエル・ヌヴー
- 吉野亜希菜
- 近藤千花子
- 小林利彰

Bassoons

- 福井 蔵
- 福士マリ子
- 坂井由佳
- 前関祐紀

Horns

- 上間善之
- 大野雄太
- ジョナサン・ハミル
- 阪本正彦
- 加藤智浩 *
- 清根伸吾 *

Trumpets

- 佐藤友紀
- 澤田真人
- 野沢岳史 ●
- 松山 萌
- 坂本佳織 *

Trombones

- 鳥塚心輔
- 大馬直人
- 住川佳祐

Bass Trombone

- 藤井良太

Timpani & Percussions

- 清水 太
- 武山芳史
- 綱川淳美
- 新澤義美

Harp

- 景山梨乃

Librarian

- ★武田英昭

Stage Managers

- 西岡理佐
- 山本 聡

荣誉団員

- 井伊 準 ◆

楽団長
大野順二

編成局長
藤原 真

パネソネル・マネージャー
大和田浩明

楽団委員
大野雄太 (議長)
福留史紘 (書記)

北村一平
鈴木浩司
多井干洋
藤井良太

事務局長
辻 敏

事務局
伊藤瑛海
小川博司
■尾木貴雄
■梶川純子
桐原美砂
佐藤雄己
高瀬 緑
竹内裕子
長久保宏太郎
廣中憲士
美濃部 敦
山田道子

名誉団友
深江泰輔 ◆ 三木靖雄

団 友
天野佳和
新井 汎
安藤史子
池田 肇
石川晴依世
今村和弘
岩澤淳子
上原正二
上原規照
上原茉莉
内田彬雄
内田乃樹子
宇部 美
梅田 学
大隅秀治
大塚正昭
小川さえずり
狄野 昇
奥田昌史
音川健二
加護合酒美
甲藤さち
加藤信吾
金澤 茂
久保田一穂
熊谷仁士
小林照雄
小林亮子
佐川聖二
佐々木真
菅野明彦
杉浦直基
鈴木一輝
芹澤英雄
曾根敦子
千村雅信
十亀正司
豊山 悟
中塚和良
中塚博則
中山 智
西依智子
西脇秀治
野村真澄
馬場隆弘
原田美保子
日野 奏
ペアン・
ポーマン
前田健一郎
丸山正昭
三浦正信
宮原祐子
宮本直樹
宮本 睦
森みこ子
諸橋健久
渡辺哲郎

◎首席奏者 ○フォアシュピラー ●インスペクター 回客演首席奏者
■本部長 □部長 ★チーフ * 研究員・準事務局員 ◆故人 ◇新任

演奏会でのお願い

ご来場の皆様に演奏会を
楽しんでいただくためにご協力下さい

Please keep in mind the following rules, protocol and
etiquette so that all of our guests may enjoy today's concert.



チケットに記載された 座席でご鑑賞ください

お手持ちのチケットに記載されて
いる座席番号にのみ有効です。座
席移動はご遠慮ください。また係の者が、チケットを
拝見・確認させていただく場合がございます。

Please be seated at the seat number designated on your
ticket.



補聴器の確認を

補聴器をご使用のお客様は、ハウ
リングの発生を避けるためにきち
んと装着されているか今一度お確
かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please
check that your device is suitably set before the
performance begins.



開演前に携帯電話、 時計のアラーム音、 電子機器等の電源はOFF

マナーモードにしても振動す
る音が響きますので、電源は必ず
切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms
and all other noise-emitting electronic devices before the
performance begins.



演奏中の 飲食はご遠慮ください

のど飴等の包み紙を開ける音は
思っている以上に場内に響きます
ので、演奏中の開封はご遠慮ください。のど飴は演奏
開始前までに口の中へ入れておきましょう。

Refrain from eating and drinking during the performance.



演奏中はお静かに

手荷物につけている鈴やビニール
袋等、音の出るものは音を立てな
いようにご配慮ください。演奏中
の私語、プログラムやスコア等紙類をめくる音、かば
んのチャック等をいじるのも雑音となりますのでご注
意ください。

Please be silent during the performance.



周囲の視界を遮るような 行為はやめましょう

身を乗り出しての鑑賞や、つばの
広い帽子や高さのある帽子は脱い
でご鑑賞ください。またリズムをとる行為も、隣の人
の迷惑になりますのでおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in
a way which could disturb or obstruct the view of those
seated near you.



開演後の入場を 制限させていただきます

開演後のご入場、曲間・楽章間のご
入場は制限させていただきます。
途中入場がある場合は、係員の指示に従ってください。

You will not be permitted to enter the concert hall during a
performance.



咳、くしゃみをする際は ハンカチで押さえましょう

ハンカチをあてがうことで音量は
かなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from
any coughing or sneezing.



曲の余韻も 演奏のうちです

フライングブラボーやフライング
拍手はお控えください。

The lingering sounds and moments are part of the
performance. Please hold your applause or shouting your
appreciation until the actual end of the performance.



香水は控えめに

Refrain from wearing an excessive amount of perfume.



ホール内での録音・録画・ 写真撮影は禁止です

Photography, filming and recording are prohibited.

ご来場の皆様へ

東京交響楽団では、政府及び地方自治体の方針を踏まえ、クラシック音楽公演運営推進協議会、全国公立文化施設協会、また各開催ホールのガイドラインに沿うとともに、医師の指導と併せ、最大限の感染予防と拡大防止のための対策を実施した上で主催公演を開催しております。

ホールまで足をお運びくださるお客様に安心して演奏会をお聴きいただけるよう、細心の注意と対策を講じた上で、厳重な安全確保に努めます。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人 東京交響楽団

新型コロナウイルス感染症対策とお願い

「マスク着用」「こまめな手洗い・手指消毒」にご協力をお願いいたします。

会場内では常時正しくマスクを着用していただけますようお願いいたします。咳エチケットにつきましてもご配慮ください。お手洗いには液体石鹸・アルコール消毒液等、ホワイエにはアルコール消毒液等を各所に設置しておりますのでご利用ください。

「社会的距離」を保っていただけますようご協力をお願いいたします。

入場時・休憩時(お手洗いで行列)・終演後の退場時等の行列では、社会的距離として最低1メートルは確保していただけますようご協力をお願いいたします。また、客席・ホワイエ等でのご歓談、お客様同士の近距離での会話はお控えください。

一部ホールではドリンクコーナー／クローカーサービスを休止させていただいております。

薬の服用や水分補給のために必要な飲料水(フタ付き飲料)はご自身で持参ください。

「ブラボー」などの掛け声は禁止とさせていただきます。

終演後は、アナウンスに従って退出していただけますよう協力をお願いいたします。

退場時は密集しないよう、社会的距離を考慮し、適度な距離を保ってご退場ください。

サイン会は実施いたしません。楽屋口等での出演者の入待ち・出待ちはお断りいたします。

出演者へのプレゼントはお預かりすることができませんので予めご了承ください。

厚生労働省による「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)」の活用を推奨いたします。

感染者が発生した場合、チケットご購入者様の個人情報、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供させていただきます。

お客様への連絡の必要が生じた場合、公的機関の指示に従い、早急な対応をいたします。

会場での感染症対策、出演者・楽団員・スタッフの感染症対策については、東京交響楽団公式サイトからご確認ください。



3/21 SUN.

新潟特別演奏会 2021 弥生

2021年3月21日(日) 5:00p.m. “リゅーとぴあ”コンサートホール

Niigata Special Concert 2021 Yayoi

Sun. 21st. March 2021, 5:00p.m. Ryutopia Concert Hall

沼尻竜典 [指揮]

砂川涼子 [ソプラノ]

中島郁子 [メゾソプラノ]

宮里直樹 [テノール]

大西宇宙 [バリトン]

辻 博之 [合唱指揮]

にいがた東響コーラス [合唱]

水谷 晃 [コンサートマスター]

Ryusuke Numajiri, Conductor

Ryoko Sunakawa, Soprano

Ikuko Nakajima, Mezzo-soprano

Naoki Miyasato, Tenor

Takaoki Onishi, Baritone

Hiroyuki Tsuji, Chorusmaster

Niigata Tokyo Symphony Chorus

Akira Mizutani, Concertmaster

モーツァルト:

交響曲 第40番 ト短調 K.550 (33')

I. モルト・アレグロ

II. アンダンテ

III. メヌエット:アレグレット

IV. フィナーレ:アレグロ・アッサイ

休憩(20')

W.A. Mozart :

Symphony No.40 in G minor K.550 (33')

I. Molto Allegro

II. Andante

III. Menuetto: Allegretto

IV. Finale: Allegro Assai

Intermission(20')

モーツァルト:

レクイエム 二短調 K.626 (50')

I. イントロイトゥス(入祭唱)

II. キリエ(憐みたまえ)

III. セクエンツァ(続唱)

IV. オフェルトリウム(奉納唱)

V. サンクトゥス(聖なるかな)

VI. ベネディクトゥス(祝せられたまえ)

VII. アニュス・デイ(神の小羊)

VIII. コムニオ(聖体拝領唱)

W.A. Mozart :

Requiem in D minor K.626 (50')

I. Introitus

II. Kyrie

III. Sequentia

IV. Offertorium

V. Sanctus

VI. Benedictus

VII. Agnus Dei

VIII. Communio

●主催/公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

●助成/文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会

楽曲解説はP.09をご覧ください



3/21 SUN.



©Ryoichi Aratani

Ryusuke Numajiri

Conductor

沼尻竜典 [指揮]

びわ湖ホール芸術監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督。2022年4月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督に就任。ベルリン留学中の1990年、ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。以来、ロンドン響、モントリオール響、ベルリン・コンツェルトハウス管、フランス放送フィル、ミラノ・ヴェルディ響、シドニー響、チャイナ・フィル等世界各国のオーケストラに客演を重ねる。国内ではNHK交響楽団を指揮してのデビュー以来、新星日本響、東京フィル、名古屋フィル、日本フィル、群馬響、日本センチュリー響のポストを歴任、ドイツではリューベック歌劇場音楽総監督を務め、オペラ公演、劇場専属のリューベック・フィルとのコンサートの双方において数々の名演を残した。ケルン、ミュンヘン、ベルリン、バーゼル、シドニー等へも客演、芸術監督を務めるびわ湖ホールでは、2017年より4年間かけてミヒャエル・ハンペの新演出による《びわ湖リング》を上演、空前の成功を収めた。14年にはオペラ《竹取物語》を作曲・初演、国内外で再演されている。17年紫綬褒章受章。

Artistic Director of Biwako Hall and Music Director of Tokyo Mitaka Philharmonia.

Winner at Besançon International Competition in 1990. After this victory Numajiri has been appearing at international orchestras such as London Symphony, Montreal Symphony, La Verdi Milano, Orchestre du Capitole de Toulouse, DSO Berlin, Sydney Symphony, China Philharmonic and Saito Kinen Orchestra. He successively held posts at several Japanese orchestras. He also has gone on to lead various productions at Cologne Opera, Komische Oper Berlin, Theater Basel, Bayerische Staatsoper, Opera Australia and New National Theatre Tokyo as guest conductor and achieved successful seasons at Theater Lübeck as General Music Director. At Biwako Hall, he has been achieving tremendous success on the productions including "Biwako Ring". In 2014 Numajiri composed and made world premiere a beautiful opera by Japanese famous folktale "Bamboo Princess", also known as Princess Kaguya, which has been repeated and highly acclaimed. He was awarded Medal of Honor with the Purple Ribbon by Emperor of Japan in 2017. Just announced Numajiri will become Music Director of Kanagawa Philharmonic Orchestra from April 2022.

Ryoko
Sunakawa
Soprano

砂川涼子
【ソプラノ】



©Yoshinobu Fukaya

可憐な舞台姿と聴くものの心を震わせる歌声で高い人気を誇るソプラノ歌手。日伊音楽コンクール優勝、日本音楽コンクール第1位等、数々の受賞歴を誇る。武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。その後イタリアでも研鑽を積む。2000年 新国立劇場「オルフェオとエウリディーチェ」エウリディーチェで本格的オペラデビューを果たす。その後、数々のオペラ公演に出演を続け、その実力に裏打ちされた歌唱は常に高い評価を得ている。また、活動の場はオペラにとどまらず、リサイタル、国内主要オーケストラからも招かれており、テレビ、ラジオへの出演も数多い。藤原歌劇団団員。沖縄県宮古島出身。

Naoki
Miyasato
Tenor

宮里直樹
【テノール】



©Yoshinobu Fukaya

東京藝術大学首席卒業。同大学院修了。ウィーン国立音楽大学にて学ぶ。近年オペラでは、日生劇場「ラ・ボエーム」ロドルフォ、同「ルチア」エドガルド、二期会「蝶々夫人」ピンカートン、東京芸術劇場「放蕩息子」アザエル、「椿姫」アルフレード等で好評を博す。コンサートにおいても、ヘンデル「メサイア」、バッハ「短調ミサ」、ヴェルディ「レクイエム」、ロッシニ「スタバト・マーテル」等のソリストとして幅広く活躍している。21年7月二期会「ファルスタッフ」フェントン、12月秋山和慶指揮東京交響楽団「第九」出演予定。二期会会員

Ikuko
Nakajima
Mezzo-soprano

中島郁子
【メゾソプラノ】



東京藝術大学卒業、同大学院修了。文化庁在外研修員として渡伊。第15回リッカルド・ザンドナーイ国際音楽コンクール・ザンドナーイ特別賞等多数受賞。二期会「イル・トロヴァトーレ」『蝶々夫人』、日生劇場「セビリアの理髪師」、新国立劇場「カルメン」『ワルキューレ』、C.デュトワ指揮「サロメ」等出演。コンサートでも、バッハ「短調ミサ」、ヴェルディ「レクイエム」、マーラー「大地の歌」「千人の交響曲」等深く美しい音色と豊かな音楽性で高い評価を得ている。21年7月二期会「ファルスタッフ」クイックリー夫人で出演予定。二期会会員

Takaoki
Onishi
Baritone

大西宇宙
【バリトン】



ジュリアード音楽院卒業、シカゴ・リリック歌劇場で研鑽を積む。2019年セイジ・オザワ松本フェスティバル/ルイージ指揮「エフゲニー・オネーギン」のタイトルロールで日本オペラデビュー。P.ヤルヴィ指揮N響「フィデリオ」、鈴木優人指揮BCJ「リナルド」、ノースカロライナ歌劇場/原田慶太楼指揮「カルメン」『道化師』に出演。カーネギーホールにてシベリウス「クレルヴォ」交響曲、「ドイツ・レクイエム」のソリストを務めた。21年びわ湖ホールオペラ/沼尻竜典指揮「ローエングリン」に出演予定。五島記念文化賞オペラ新人賞、日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞を受賞。

3/21 SUN.

Hiroyuki Tsuji

Chorusmaster

辻 博之 [合唱指揮]



東京藝術大学音楽学部声楽学科卒業。各地の劇場にて著名指揮者の下オペラ指揮の研鑽をつむ。日本全国でオペラを中心とした合唱指導に定評がある。指揮者としても2017年にはオーケストラ・アンサンブル・金沢定期演奏会にデビュー。また、同年にはDitto Orchestra, Seoul motetto choirと共に韓国ソウルデビュー。日本のみならず、海外にも活動の幅を広げている。にいがた東響コーラスの合唱指揮は、2019年9月のベートーヴェン/カンタータ「静かな海と楽しい航海」作品112以来2回目。

Chorus

にいがた東響コーラス [合唱]

東京交響楽団新潟定期演奏会における合唱付オーケストラ曲への共演を目的に、1998年に発足。これまでに、モーツァルト《レクイエム》《戴冠ミサ》、ベートーヴェン《第九》《ミサ・ソレムニス》、マーラー《千人の交響曲》《復活》、フォーレ《レクイエム》、ブラームス《ドイツ・レクイエム》、オルフ《カルミナ・ブラーナ》、ラヴェル《ダフニスとクロエ》、ベルリオーズ《テ・デウム》、メンデルスゾーン《讃歌》ほか数多くの公演に出演している。

メンバー表

●指導者

合唱指揮：辻 博之
ピアノ：内海信子
齋藤愛子
八子真由美

●コーラス委員

委員長：漆山律直
副委員長：永井道子
西島理恵
会計：大石由利子

●パートリーダー

Sop.: 伊東美和子
横田千恵子
Alt.: 佐藤文子
西山益代
Ten.: 永井昭光
Bas.: 荒井健次
金子一郎

Soprano

秋山敦美
荒川洋子
飯島淳子
飯塚智恵子
石塚佐栄子
石堂ナオ
伊東美和子
李 玟承
今成三枝子
入西宏子
大石由利子
大田和代
太田真理
大滝里美
荻山倫子
片桐直子
金子英子
川崎ノリ
菊池史子
久住春枝
熊谷雅子
倉林敬子
小島美香子

小菅 文
小林映子
佐藤富美子
鈴木由香
田中恵津子
永井道子
仲野麻子
長谷川さつき
林 頼子
福井諭美
横田千恵子
宮木素子
村澤康子
山田正子
安田光子
吉田美紀
米谷由起子

Alto

浅井由記
池田玲子
伊藤智美
石山夏代子
岩佐由美子

岩野彰子
遠藤紀子
大橋治子
岡崎恵子
岡橋麻衣
小川安江
加藤葉子
木村貴子
後藤まみ
小林由希恵
近藤久美
近藤美弥子
笹川規子
佐藤文子
進藤よしみ
鈴木真里
遠山リエ子
中尾美紀
中村昌子
西島理恵
西山益代
日野久美子
廣河香納子
藤崎久美子

本間暁美
皆川妙子
若佐フジ
鷲尾伴子
渡邊美和子
渡辺 恵
渡辺ルツ子

Tenor

大野 昇
熊澤 隆
酒井伊智郎
笹川富士雄
鈴木良明
清水仁
永井昭光
村山賢一

Bass

天野武博
荒井健次
漆山律直
金子一郎
川口 修

栗川 治
小林岳史
笹川 基
塩原昭夫
高口和則
田村和豊
津川達雄
津久井淳
長谷川均
マーク・
マリ
諸田哲也
山田 進
渡辺浩司

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756 ~ 1791)

交響曲 第40番 ト短調 K.550

この交響曲は第39番、第41番と並んでモーツァルトの最後の三大交響曲として知られている。この3曲は、彼がヨーゼフ2世のもとで宮廷音楽家を務めていた時期に、1788年6月から8月にかけての短期間で作られた。中でも第40番は7月に作られたが、初演の時期や場所については定かではない。またこの交響曲は、時期は不明だが完成後に改訂され、その際オーケストラにクラリネットが加わった。今回はクラリネットを伴う改訂稿で演奏する。

この作品は、モーツァルトの交響曲の中では短調を中心とする数少ない曲である。

第1楽章(モルト・アレグロ)は洗練された第1主題で始まる。この主題ののち突如長調に変わり、力強い旋律が登場する。そして曲は長調のまま落ち着きを取り戻し、第2主題が登場。楽章の間では主に第1主題が発展させられる。その後2つの主題が再現されるが、その際第2主題は短調で現れる。そして曲は短調のまま勢いよく終わる。

第2楽章(アンダンテ)は6/8拍子による緩徐楽章。曲は長調による落ち着いた旋律で始まるが、中間部では短調に転調し、力強い曲調により緊張感を生み出す。また楽章を通して小刻みに動く32分音符が曲を装飾する。中間部ののち冒頭主題が再現され、落ち着きを取り戻して曲が閉じられる。

第3楽章(メヌエット:アレグレット)は短調によるメヌエット。冒頭の主題は力強さの中にも気品が感じられる。一方中間部(トリオ)では長調になり、優美な旋律が登場。また途中でホルンが旋律を担うことで牧歌的な雰囲気になる。こののち冒頭主題が繰り返されて楽章が終わる。

第4楽章(フィナーレ:アレグロ・アッサイ)は終始急速なテンポで進む。第1主題は短調による軽快な旋律で、音の強弱の細かな変化が聴き手を楽しませる。一方第2主題は長調による優美な旋律で第1主題と対比をなす。楽章の間では主に第1主題が発展させられる。そしてこれら2主題の再現を経て、短調で力強く曲が閉じられる。

佐野旭司 Text by Akitsugu Sano

作曲:1788年7月

初演:不明

編成:フルート1、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、弦5部

3/21 SUN.

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756～1791)

レクイエム 二短調 K.626

1791年の夏の終わりに、モーツァルトはオペラ「皇帝ティトの慈悲」初演のため、プラハに赴く。

この旅には、妻コンスタンツェのほか、同オペラのレチタティーヴォ・セッコ＝通奏低音を伴う叙唱の部分を書いたとされる弟子のフランツ・クサヴァー・ジュスマイヤー(1766～1803)、それにクラリネットの低音域を拡大した「バセット・クラリネット」の名手アントン・シュタードラーが同行している。ジュスマイヤーは、モーツァルトの身近にいた有能なアシスタント兼作曲家だった。

絶筆となった「レクイエム」は、ヴァルゼック＝シュトゥパハなる伯爵の依頼で書かれ、モーツァルトが1791年12月5日に天に召された後、ジュスマイヤーの補筆によって「完成」する――この経緯は1800年の初版楽譜出版の際に明らかにされた。ジュスマイヤーが手がける前には、やはりモーツァルト寄り添っていたヨーゼフ・アイブラー(1765～1845)が補筆を試みている。

モーツァルトが書き上げたのは、第1曲「イントロイトゥス」のほぼすべてと、第2曲「キリエ」、第3曲「セクエンツァ」(ラクリモーサの8小節目まで)、それに第4曲「オフェルトリウム」の各声楽パートとオーケストラの低音部である。

楽曲のごく一部は、1791年12月中旬にウィーンの聖ミハエル教会とプラハの聖ミクラーシュ教会で執り行われた「モーツァルト追悼ミサ」で演奏されている。ウィーンでの呼びかけ人は「魔笛」の台本作家シカネーダーだった。

曲の最後に、第1曲「イントロイトゥス」の後半部と第2曲「キリエ」の音楽を回帰させたジュスマイヤー補筆稿の初披露は1793年か。楽譜はその後依頼主の伯爵に渡り、1796年の演奏を経て「レクイエム」は伝説化される。

1849年にはパリ・マドレーヌ教会でのショパンの葬儀で演奏されたほか、ブルックナー、ブラームスもこの曲を愛した。

未完の逸品レクイエムを「完成」させる動きは1970年以降もあり、バイヤー新旧版、モーニング版、ランドン版、レヴィン版、それに鈴木優人補筆改訂版が存在する。今日は<ジュスマイヤー補筆完成版/ベーレンライター社から刊行>での演奏となる。

奥田佳道 TEXT by Yoshimichi Okuda

作曲:1791年秋～冬

初演:1793年1月2日ウィーン?

編成:ソプラノ独唱、アルト独唱、テノール独唱、バス独唱、バセット・ホルン2、ファゴット2、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、オルガン、弦5部、混声合唱

W.A.Mozart : Requiem in D minor, K.626

モーツァルト : レクイエム 二短調 K.626

[歌詞対訳] 秋岡 陽 Yo Akioka

I. Introitus

Requiem aeternam dona eis Domine,
et lux perpetua luceat eis.
Te decet hymnus, Deus, in Sion,
et Tibi reddetur votum in Jerusalem.
Exaudi orationem meam:
ad Te omnis caro veniet.
Requiem aeternam dona eis Domine,
et lux perpetua luceat eis.

II. Kyrie

Kyrie, eleison.
Christe, eleison.
Kyrie, eleison.

III. Sequentia

1) Dies Irae
Dies irae, dies illa,
Solvat saeculum in favilla:
Teste David cum Sibylla.

Quantum tremor est futurus,
Quando judex est venturus,
cuncta stricte discussurus!

2) Tuba Mirum
Tuba mirum spargens sonum
per sepulcra regionum,
coget omnes ante thronum.

Mors stupebit et natura,
cum resurget creatura,
judicanti responsura.

Liber scriptus proferetur,
in quo totum continetur,
unde mundus judicetur.

Judex ergo cum sedebit,
quidquid latet apparebit:
nil inultum remanebit,

Quid sum miser tunc dicturus?
Quem patronum rogaturus?
Cum vix justus sit securus.

3) Rex Tremendae
Rex tremendae majestatis,
qui salvandos salvas gratis,
salva me, fons pietatis.

I. イントロイトゥス(入祭唱) [合唱・ソプラノ独唱]

永遠の安息を彼らに与えてください、主よ、
そして絶えざる光が彼らを照らしますように。
あなたに、神よ、シオンでは賛美を捧げます。
そしてあなたに誓いは果たされます、エルサレムの地で。
どうか聞き入れてください、私の祈りを;
あなたのもとへ、すべての肉は行くのです。
永遠の安息を彼らに与えてください、主よ、
そして絶えざる光が彼らを照らしますように。

II. キリエ(憐れみたまえ) [合唱]

主よ、あわれんでください。
キリストよ、あわれんでください。
主よ、あわれんでください。

III. セクエンツィア(続唱) [合唱]

1) 怒りの日
その日こそ、怒りの日。
この世は灰燼に帰し、
その様をダビデとシビラがみとどける。

畏れるがよい、
裁きの主が来て、
すべてを厳しく裁かれる。

2) 不思議なラッパ [四重唱]
不思議なラッパが鳴り響き
全地の墓に鳴り渡るなか、
すべての民は玉座の前に集められる。

死も自然も驚くなか
被造物である人間は蘇り、
裁きに答えるときがくる。

記された書物が前に運ばれると、
そこにはすべてが書かれており、
それによって世界は裁かれる。

こうして、裁きの主がその座に着くとき、
隠れているもので、あらわにならぬものはなく、
罰せられずにすむものは何ひとつない。

そのとき哀れな私は何を言うことができるだろう?
誰に助けを求められるだろう?
正しい人でさえ恐れるその時に。

3) 恐るべき威厳の王よ [合唱]

王よ、恐るべき威厳の王よ、
救うべき者を救ってくださいる恵みの方よ、
どうか私を救ってください。慈悲の泉なる方よ。

3/21 SUN.

W.A.Mozart : Requiem in D minor, K.626

モーツァルト : レクイエム 二短調 K.626

4) Recordare

Recordare Jesu pie,
quod sum causa tuae viae:
ne me perdas illa die.

Quaerens me, sedisti lassus,
redemisti crucem passus:
tantus labor non sit cassus.

Juste judex ultionis,
donum fac remissionis,
ante diem rationis.

Ingemisco, tamquam reus:
culpa rubet vultus meus:
supplicanti parce Deus.

Qui Mariam absolvisti,
et latronem exaudisti,
mihi quoque spem dedisti,

Preces meae non sunt dignae:
Sed tu bonus bonus fac benigne,
Ne perenni cremer igne.

Inter oves locum praesta,
et ab haedis me sequestra,
statuens in parte dextra.

5) Confutatis

Confutatis maledictis,
flammis acribus addictis,
voca me cum benedictis.

Oro supplex et acclinis,
cor contritum quasi cinis:
gere curam mei finis.

6) Lacrimosa

Lacrimosa dies illa,
qua resurget ex favilla
judicandus homo reus:

Huic ergo parce Deus
pie Jesu Domine,
dona eis requiem. Amen.

4) 慈しみ深いイエスよ、思い出してください [四重唱]

慈しみ深いイエスよ、
私のためにあなたが来たことを思い出し、
その日に、私を滅ぼさないでください。

私を探し、疲れてあなたは座しました。
十字架の受難によって、購ってくださいました。
それほどの働きを、徒勞にしないでください。

正しい裁きの主よ、罰をさだめる方よ、
裁きの日のその前に、
どうか赦しを与えてください。

私は罪人のようにうめきます。
その過ちを思うとき、私の顔は赤らみます。
神よ、哀願する者を慈しんでください。

あなたはマリアを赦し、
盗人に耳を傾け、
私にも希望を与えてくださいました。

私の願いはこの身に相応しくないもの。
しかしあなたは善いものをくださる方。
どうか業火で焼き尽くさないでください。

善い羊たちのほうに私を置き、
滅ぼされる山羊から私を離し、
あなたの右側に私を立たせてください。

5) 呪われた者たちが [合唱]

呪われ、押し黙らされた者たちが
燃えあがる炎へと引き立てられるとき、
どうか私を祝福された者とともに呼んでください。

私は哀願し、ひれ伏して祈ります。
心は灰のように粉々です。
私の最後の心配を、どうかかえりみてください。

6) 涙にくれる、その日 [合唱]

涙にくれる、その日、
人は塵から蘇り、
裁きを受けるために引き立てられる。

神よ、この者をどうかかえりみてください。
慈しみ深い主、イエスよ、
彼らに安息を与えてください。アーメン。

IV. Offertorium

1) Domine Jesu Christe
 Domine, Jesu Christe, Rex gloriae,
 libera animas omnium fidelium defunctorum
 de poenis inferni,
 et de profundo lacu;
 libera eas de ore leonis,
 ne absorbeat eas Tartarus,
 ne cadant in obscurum.
 Sed signifer Sanctus Michael
 representet eas in lucem sanctam,
 quam olim Abrahae promisisti
 et semini eius.

2) Hostias et preces tibi
 Hostias et preces Tibi,
 Domine, laudis offerimus.
 Tu suscipe pro animabus illis,
 quarum hodie memoriam facimus.
 Fac eas, Domine, de morte transire
 ad vitam,
 quam olim Abrahae promisisti
 et semini eius.

V. Sanctus

Sanctus, Sanctus, Sanctus
 Dominus Deus Sabaoth.
 Pleni sunt caeli et terra
 gloria tua.
 Osanna in excelsis.

VI. Benedictus

Benedictus qui venit
 in nomine Domini.
 Osanna in excelsis.

VII. Agnus Dei

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi,
 dona eis requiem.
 Agnus Dei, qui tollis peccata mundi,
 dona eis requiem.
 Agnus Dei, qui tollis peccata mundi,
 dona eis requiem sempiternam.

VIII. Communio

Lux eterna luceat eis, Domine,
 cum sanctis Tuis in aeternum,
 quia pius es.
 Requiem aeternam dona eis, Domine,
 et lux perpetua luceat eis,
 cum sanctis Tuis in aeternum,
 quia pius es.

IV. オフェルトリウム(奉納唱) [合唱・四重唱]

1) 主イエス・キリストよ
 主イエス・キリスト、栄光の王よ、
 すべての亡くなった信者たちの魂を
 地獄の罰から解き放ち、
 深い淵から救ってください。
 彼らの魂を獅子の口から解き放ち、
 冥府がその魂を呑み込むことなく
 その魂が闇に陥ることのないようにしてください。
 むしろ聖ミカエルが旗手となって
 彼らの魂を聖なる光の中へと導いてください。
 主がかつてアブラハムに約束し、
 そして彼の子孫にも約束したように。

2) いけにえと祈りとを [合唱]

いけにえと祈りとを、
 主よ、賛美のうちに、私たちは捧げます。
 彼らの魂のために、それを受け入れてください。
 今日私たちの記念する、その魂のために。
 彼らを、主よ、死から
 生へと移してください。
 主がかつてアブラハムに約束し、
 そして彼の子孫にも約束したように。

V. サンクトゥス(聖なるかな) [合唱]

聖なる、聖なる、聖なるかな、
 万軍の主である神
 天と地は、
 主の栄光に満ちあふれる。
 いと高きところにホサナ。

VI. ベネディクトゥス(祝せられたまへ) [四重唱・合唱]

主の名によって来られる方
 祝福があるように。
 いと高きところにホサナ。

VII. アニウス・デイ(神の小羊) [合唱]

神の小羊、世の罪を除いてくださる方よ、
 どうか彼らに安息を与えてください。
 神の小羊、世の罪を除いてくださる方よ、
 どうか彼らに安息を与えてください。
 神の小羊、世の罪を除いてくださる方よ、
 どうか彼らに、永遠の安息を与えてください。

VIII. コンムニオ(聖体拝領唱) [ソプラノ独唱・合唱]

永遠の光が、主よ、彼らを照らしますように。
 あなたの聖徒たちと共に、永遠に。
 主は慈しみ深い方でいらっしゃいますので。
 永遠の安息を彼らに与えてください、主よ、
 そして絶えざる光が彼らを照らしますように。
 あなたの聖徒たちと共に、永遠に。
 主は慈しみ深い方でいらっしゃいますので。

3/27 SAT.

第688回 定期演奏会

2021年3月27日(土) 6:00p.m. サントリーホール

Subscription Concert Series No.688

Sat. 27th. March 2021, 6:00p.m. Suntory Hall

井上道義 [指揮]

北村朋幹 [ピアノ]

グレブ・ニキティン [コンサートマスター]

Michiyo Inoue, Conductor

Tomoki Kitamura, Piano

Gleb Nikitin, Concertmaster

ベートーヴェン:

ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 作品58 (33')

- I. アレグロ・モデラート
- II. アンダンテ・コン・モート
- III. ロンド: ヴィヴァーチェ

休憩(20')

ショスタコーヴィチ:

交響曲 第6番 口短調 作品54 (35')

- I. ラルゴ
- II. アレグロ
- III. プレスト

L.v. Beethoven.:

Piano Concerto No.4 in G major Op.58 (33')

- I. Allegro moderato
- II. Andante con moto
- III. Rondo: Vivace

Intermission(20')

D. Shostakovich :

Symphony No.6 in B minor Op.54 (35')

- I. Largo
- II. Allegro
- III. Presto

- 主催/公益財団法人東京交響楽団
- 特別協賛/株式会社エイチ・アイ・エス
- 助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

※当初の予定から、出演者が一部変更となりました。

楽曲解説はP.18をご覧ください



3/27 SAT.



©Yuriko Takagi

Michiyoshi Inoue

Conductor

井上道義 [指揮]

1946年東京生まれ。桐朋学園大学卒業。ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィル音楽監督、京都市響音楽監督、大阪フィル首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を歴任。2014年4月、病に倒れるが同年10月に復帰を遂げる。2015年全国共同制作オペラ「フィガロの結婚」(野田秀樹演出)、2017年大阪国際フェスティバル「バーンスタイン：ミサ」(演出兼任)、2019年全国共同制作オペラ「ドン・ジョヴァンニ」(森山開次演出)、いずれも総監督として率い既成概念にとられない唯一無二の舞台を作り上げている。2018年9月、日越外交関係樹立45周年記念NHK交響楽団ベトナムツアーを指揮し各方面より絶賛されている。

2016年「渡邊暁雄基金特別賞」、「東燃ゼネラル音楽賞」、2018年「大阪文化賞」「大阪文化祭賞」「音楽クリティック・クラブ賞」、2019年「有馬賞」を受賞。オーケストラ・アンサンブル金沢桂冠指揮者。

オフィシャルサイト：

<http://www.michiyoshi-inoue.com/>

Mr. Inoue got the critical acclaim following his first prize at the Guido Cantelli Conducting Competition in Milan brought him to the attention of the international music scene, and he has been a familiar face on podiums all over the world ever since. Mr. Inoue was Principal Guest Conductor at the New Zealand Symphony Orchestra, Music Director of New Japan Philharmonic, Kyoto Symphony Orchestra, Orchestra Ensemble Kanazawa, and Principal Conductor of the Osaka Philharmonic Orchestra.

The highlights of Mr. Inoue's recent activities since his return after a rest because of serious illness include the general direction of the new production of Mozart "Le Nozze di Figaro: What The Gardener Saw" in collaboration with the stage director Hideki Noda in 2015/2020, and the general direction of the theater piece of Bernstein "Mass" for the 55th Osaka International Festival 2017.



©TAKA MAYUMI

Tomoki Kitamura

Piano

北村朋幹 [ピアノ]

愛知県出身。これまでに浜松国際ピアノコンクール第3位、シドニー国際ピアノコンクール第5位ならびに3つの特別賞、リーズ国際ピアノコンクール第5位、ボン・テレコム・ベートーヴェン国際ピアノコンクール第2位を受賞。第3回東京音楽コンクールにおいて第1位ならびに審査員大賞(全部門共通)受賞、以来日本国内をはじめヨーロッパ各地で、オーケストラとの共演、ソロリサイタル、室内楽、古楽器による演奏活動を定期的に行っている。

録音は最新アルバム「Bagatellen」を含む4枚のソロアルバムをフォンテックよりリリース、レコード芸術をはじめとする主要紙において好評を得ている。

東京藝術大学に入学後、2011年よりベルリン芸術大学ピアノ科で学び最優秀の成績で卒業。伊藤恵、エヴァ・ポプウォッカ、ライナー・ベッカー各氏に師事。現在はフランクフルト音楽・舞台芸術大学に於いて、イエスパー・クリステンセン氏のもと歴史的奏法の研究に取り組んでいる。

オフィシャルサイト：

<http://tomoki-kitamura.com/>

Tomoki Kitamura started piano at age 3. He has won several prizes at important international competitions, such as Hamamatsu (3rd Prize), Sydney (5th Prize and special prizes), Leeds (5th Prize), and the International Telekom Beethoven Competition in Bonn (2nd Prize).

In 2005 he won First Prize and the Grand Jury Prize at the 3rd Tokyo Music Competition. In 2019 Kitamura started producing his own recital projects entitled "Real-time".

Kitamura's recordings include 4 solo CDs released by Fontec, and have been highly appraised by several record critics.

Kitamura studied at Tokyo University of the Arts, and in 2011 he enrolled at the Universität der Künste Berlin where he graduated with honors. He has studied with Kei Itoh, Ewa Poblocka and Rainer Becker. Since 2017 he is researching traditional performance methods with Jesper Christensen at Frankfurt University for Music and Performing Arts.

3/27 SAT.

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770~1827)

ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 作品58

1795年にピアノ協奏曲第1番(もしくは第2番)を自作自演してウィーンの楽壇にデビューしたベートーヴェンにとって、「自分が弾く作品」でもあったピアノ協奏曲。その第4番は、彼が次々に名作を書いた“傑作の森”の時代に誕生した。ピアノ協奏曲第3番を初演(1803年)後まもなくしてスケッチを書き始めるが、同時期に作曲していたオペラ「レオノーレ」(のちの「フィデリオ」)や三重協奏曲などのためにスケッチが一旦中断したのち、1806年に完成。この年はピアノ協奏曲第4番に加え、交響曲第4番、「ラズモフスキー」四重奏曲、ヴァイオリン協奏曲も完成した豊作の年でもあった。

当時の協奏曲の第1楽章は通常、最初にオーケストラが主題を演奏したのち独奏楽器が登場するが、ピアノ協奏曲第4番では独奏ピアノのみで曲が始まる。作品を発表するたび革新的な音楽スタイルを切り拓いたベートーヴェンならではの斬新な開始であり、当時の観客の耳には新鮮に響いたことだろう。

初演は、私的なものは1807年、「コリオラン」序曲、交響曲第4番と共に。公には1808年12月、交響曲第5番「運命」、第6番「田園」、「合唱幻想曲」と共に初演され、独奏はベートーヴェン自身が務めた。ピアノ協奏曲第5番「皇帝」では難聴が悪化して合奏が難しくなってしまったので、第4番は彼が演奏会で独奏を弾いた最後の協奏曲でもある。

第1楽章 公の初演ではこの曲の後に「運命」が演奏されたが、それを予告するかのように「運命」を思わせるリズムによる穏やかな第1主題を独奏ピアノが奏でて開始。オーケストラが引き継ぎ、リズムカルな短調の第2主題も提示したのち、独奏ピアノが改めて登場して華麗に展開していく。

第2楽章 独奏ピアノと弦楽合奏の対話の楽章。弦楽器が付点リズムの旋律を劇的に奏で、それに対し、独奏ピアノは「モルト・カンタービレ(とても歌って)」「モルト・エスプレッシーヴォ(とても表情豊かに)」で応える。

第3楽章 華麗なロンド。第1楽章と関連のあるリズムカルな主題が中心となって、明るく躍動的な音楽が展開する。

榊原 律子 TEXT by Ritsuko Sakakibara

作曲: 1806年

初演: 1807年3月

編成: 独奏ピアノ、フルート1、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦5部

ドミートリー・ショスタコーヴィチ(1906~1975)

交響曲 第6番 口短調 作品54

交響曲第6番は第一に、堂々たる成功を収めた交響曲第5番(1937年)に続く作品という意味で、ショスタコーヴィチにとって少なからぬ意義を持つ作品だった。熱烈な賛辞を受けた彼の交響曲第5番が、いわゆる「プラウダ批判」からの名誉回復の助力となったことはよく知られている。この流れを意識してか、ショスタコーヴィチはそれに続く交響曲が合唱つきの壮大な「レーニン交響曲」であると盛んに触れ回った。しかしその企図はいつしか退き、改めて最終的に発表された交響曲第6番は標題のない純粋器楽作品だった。ショスタコーヴィチ自身は本作の曲想を「春、喜び、若さ、叙情性といった雰囲気」と語っているが、本曲のもつ前作第5番や「レーニン交響曲」との歴史的関連、緩・急・急の特異な楽章構成、聴こえてくる独特な音像、音楽の流れは、彼が語る以上に聴き手の前に様々な解釈の可能性をひらいている。

第1楽章は展開部を欠くソナタ形式による。重々しい付点音符をもつ冒頭動機を従えた主要主題は、葬送行進曲を思わせる。息長い旋律が表現豊かな新動機による頂点を導くと、冒頭動機と新動機とが様々に労作されていく。わびしげな副次主題も冒頭主題と同じように葬送行進曲のリズム動機をもつ。口短調の短い再現部では、滑らかな三連符の伴奏が両主題の重苦しさを和らげ、ほの明るいムードが音楽に差し込む。

第2楽章は急速なスケルツォ楽章。主要主題は縦横無尽に駆け回るパッセージ。躍動的な中間部は、様々なリズムが伸び縮みしながらクライマックスへと向かう。冒頭旋律とその反行型が同時に演奏される一捻りある主題の回帰は耳に楽しい。


第3楽章では、軽快で歯切れのいい第一主題と、皮肉交じりでおどけた調子の第二主題が主役を担う。中間部ではダイナミックな三拍子のリズムが軸となり、主部と鮮やかな対照をなす。終結部の楽想は底抜けに明るく、華やかに楽曲を締めくくる。

山本 明尚 TEXT by Akihisa Yamamoto

作曲：1939年7月~10月

初演：1939年11月5日、エヴゲーニイ・ムラヴィーンスキイ指揮レニングラード・フィルハーモニー管弦楽団、レニングラード・フィルハーモニー大ホール

編成：ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、イングリッシュホルン1、クラリネット3(小クラリネット持替1)、バス・クラリネット、ファゴット3(コントラファゴット持替1)ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、バス・チューバ1、ティンパニ、トライアングル、大太鼓、小太鼓、シロフォン、タムタム、シンバル、タンブリン、ハープ1、チェレスタ、弦5部



音楽監督ジョナサン・ノット

Season 8

東京交響楽団の 2021年シーズン

奥田佳道 Yoshimichi Okuda
(音楽評論家)

2021/2022年シーズン、ファンの声援も熱い東京交響楽団は創立75年を寿ぐ。Take a riskを「合言葉」に創造の地平を拓く音楽監督ジョナサン・ノットとの旅も8シーズン目。選曲からして魅せるノットと東響に想いを寄せる前に、春の慶事を。

開幕を彩るのはコロナ禍のオーケストラと聴き手に手を差し伸べ、鮮烈なパフォーマンスで音楽界を鼓舞したマエストロ原田慶太楼だ。筆者は「音楽の友」誌2021年2月号の特集<コンサート・ベストテン2020>企画で原田のことを「アーティスト・オブ・ザ・イヤー、ライジング・スター部門の受賞者」と評した。

祝、東京交響楽団正指揮者就任。アメリカで学び、知る人ぞ知る名匠ウラディーミル・ボンキンのもとでロシア流儀も修めた。昨年夏、米ジョージア州南東部の美しい水辺の古都サヴァンナのサヴァンナ・フィルハーモニックの音楽・芸術監督に迎えられた。ライブの喜びを分かち合い、そのグルーブ感をソーシャルメディアでも発信するMo.Keitaro HaradaがTokyo Symphonyの仲間となる。彼の歩み、好み、近未来を映し出す選曲を見よ。シーズンを通じ、好ましいサプライズがありそう。東響に新たな風が吹く。

古典、ロマン派、近現代の調べを大胆かつ

自在に行き来し、即興性や魔境探訪も魅力となるジョナサン・ノットに、あらためて喝采を。時空をひらりと超えた選曲には、例によって「ストーリー性」が見え隠れる。謎が謎呼ぶコンセプトもあるが、ジョン・アダムズの歌劇「中国のニクソン」(1987年初演)終幕の番外編ともディレクターズ・カットともいえる「ザ・チェアマンダンス」は、文献や音源云々ではなく、ホールで体感しないことには何も始まらないのではないか。フォックストロット「主席／議長は踊る」だ。ディアギレフゆかりバレエ音楽、ドビュッシーの「遊戯」への導入なのか。神秘も烈しい情趣も舞う！マーラー若き日の肖像「巨人」との関連は、さて。

精妙に移ろうドビュッシーの音彩と通じ合っていた武満徹が、五角形や五音階をほのめかしながら紡いだ「鳥は星形の庭に降りる」(5月)、それにデュティユーの交響曲第1番(10月)は、響きの綾に夢中になるノット好みの好選曲。妖しいワーグナーとセットでプログラミングされたデュティユーのチェロ協奏曲(独奏ヨハネス・モーザー、2016年12月)の詩情を思い出す。ピエール＝ロラン・エマールとのバルトーク(5月)が上半期の頂点を築くか。

フランス系の調べを眺めては、スイス・ロマンド管弦楽団の音楽監督契約を無期限で延



Symphony Lounge [シンフォニー・ラウンジ]
東京交響楽団の2021年シーズン

長したばかりのジョナサン・ノットですからね、と記すのは音楽評論家の悪い癖だ。今季かぐわしいフランス音楽名曲選(9月)を任されているのは、熱血漢の桂冠指揮者ユベール・スダーンである。

信頼の首席奏者=伊藤文嗣、青木篤子、それにコンサートマスターのソロを交えたリチャルト・シュトラウスの交響詩「ドン・キホーテ」(7月)は東響ファンへの贈り物。しかも奇想天外、空想の旅をエスコートするのがノットとは嬉しい。気宇壮大なシベリウスの交響曲第5番とともに東響の音色、技、表現に抱かれる定期だ。頼むぞ。

ジョナサン・ノットと東京交響楽団のブルックナーはすでに近代の演奏史。交響曲第3番、第7番、第8番、第5番、第9番と記すだけで、あの日の喝采や景色が蘇る。録音もある。昨秋演奏するはずだった第6番(5月特別演奏会)の復活は嬉しい。

抜群の人気を誇る交響曲第4番「ロマンティック」(10月)、それにアルマ(マラー)とグロピウスの愛娘マノンの死を創作の源泉とするアルバン・ベルクのヴァイオリン協奏曲を結ぶのは、古き良き時代のオーストリアの景色、調べ、忘れ難い思慕の念。大聖堂に満ちるオルガンやバッハも「こだま」する。年の瀬は第9ばかりでなく、ポーランド楽派の匠ルトス

ワフスキの管弦楽のための協奏曲を嬉々とした表情で指揮する私たちの音楽監督ノットへの挨拶を忘れないようにしたい。

客演の華は、オペラ、シンフォニーの両輪に旨味を発揮するパリジャンで、楽都ウィーンとの絆も深いバルトラン・ド・ビリー(6月)と、「お帰りなさい」のクシシュトフ・ウルバンスキ(11月)で、ド・ビリーは同世代のノット監督に臆することなくブルックナーの交響曲第7番(6月)に腕を揮う。友人グザヴィエ・ドゥ・メストレとの「饗宴」も添えられた。ウルバンスキのタクトが間違えなく冴える「カルミナ・ブラーナ」(11月)に野暮なコメントは不要だ。欧米音楽界が知る中国の雄ロン・ユーと共演するヴァイオリンの才媛、外村理紗(7月)をどうぞお聴き逃しなく。逸材だ。

80歳台を迎えた桂冠指揮者秋山和慶のベートーヴェン「第9」(12月)に、CD録音もあるブラームスの交響曲第1番(1月)。舞踏と相愛の井上道義が選曲にもこだわったプロコフィエフの「ロメオとジュリエット」(6月)。先日は新国立劇場の「フィガロの結婚」でも東響と一緒に沼尻竜典の声乐を交えたラヴェル名曲選(3月)が高水準であってこそ私たちのオーケストラである。

さあ開演だ。

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N Ikegami

ご芳名 (敬称略)

法人会員

プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス
株式会社ドワンゴ
ハウステンボス株式会社

ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人
株式会社伊藤総合事務所
株式会社インサイド・アウト
花王株式会社
環境ステーション株式会社
学校法人創志学園
株式会社ティー ワイ リミテッド
株式会社日本財託
パークレイズ証券株式会社
ピアークホールディングス株式会社
株式会社フェイス

ゴールド会員

株式会社青山メインランド
イーサポートリンク株式会社
サントリーホールディングス株式会社
新菱冷熱工業株式会社
セントラル短資FX株式会社
社会医療法人財団石心会
玉川学園・玉川大学
玉の肌石鹸株式会社
中外製薬株式会社
株式会社TFDコーポレーション
株式会社鉄鋼ビルディング
株式会社トーションパートナーズ
西松建設株式会社
株式会社NIPPO
株式会社日本M&Aセンター
株式会社パソナグループ
ヒノキ新薬株式会社
司法書士法人ふなざき総合事務所
株式会社ぶらう
丸紅新電力株式会社
ミヨシ油脂株式会社
ヤマザキビスケット株式会社
横浜自動車部品株式会社

シルバー会員

株式会社エスティア
株式会社NHKビジネスクリエイト
公益財団法人青梅佐藤財団
川崎信用金庫
松竹株式会社
有限会社青史堂印刷
月島食品工業株式会社
東京鐵鋼株式会社
株式会社野毛印刷社
久光製薬株式会社
本田技研工業株式会社
司法書士法人村田事務所
株式会社LALLヒューマンホールディングス

ブロンズ会員

アーティス ホールディングス株式会社
NPO法人かわさき市民アカデミー
酒蔵駒八 別館
株式会社シグマコミュニケーションズ
新宿村スタジオ
ニッシンエレクトロ株式会社
富士ゼロックス神奈川株式会社
マイクロサーボ有限会社
前山歯科医院
株式会社ヤクワ
株式会社U・STYLE
株式会社ワイ・ティ・ビー

賛助企業

アサヒビール株式会社
東海大学教養学部 芸術学科音楽学課程
政鬼運輸株式会社
山崎製パン株式会社

匿名4社

<東京交響楽団サポート会員制度>

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。そのため不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

個人会員

フレンズ1

年額1万円
～29,999円

フレンズ3

年額3万円
～49,999円

フレンズ5

年額5万円
～99,999円

サークル10

年額10万円
～249,999円

サークル25

年額25万円
～499,999円

サークル50

年額50万円～

法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけでなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

ブロンズ

年額10万円～

シルバー

年額30万円～

ゴールド

年額50万円～

ダイヤモンド

年額100万円～

プラチナ

年額1000万円～

会員特典	詳細はHP、 又はお電話でお問合せ下さい	フレンズ会員				
		法人会員	サークル 会員	フレンズ5	フレンズ3	フレンズ1
主催公演へご案内		○	○			
出演者・楽員との懇親会		○	○			
オリジナルイベント		○	○	○	○	
ゲネプロ見学会(年3回以上)		○	○	○	○	
リハーサル見学会(年3回以上)		○	○	○	○	○
ご芳名掲載		○	○	○	○	○
主催公演チケット先行予約*1		○	○	○	○	○
公演チケットをご優待価格にてご案内*2		○	○	○	○	○

*1 一部対象外もございます。*2 東京交響楽団の主催公演およびミュージアムザ川崎シンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。

◎個人の場合：「寄附金額から2,000円引いた金額」の40%分^{*3}について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。

また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合：「損金算入限度額」が一定の算式に従い、拡大されます。^{*3}

^{*3}但し、各該当法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご遺贈についてもご案内させていただいております。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけるようになりました。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ TEL 044-520-1518

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail supporters@tokyosymphony.com

Meet the Musicians

楽団員紹介

山形が誇る、ユーモアに富むホルニスト

大野 雄太

Yuta Ohno

[首席ホルン奏者]2011年10月入団

趣味: インドアなこと(読書、PCも手作りしました)



©N.Ikegami

ホルニストは“良い人”

全く覚えていないのですが、自分で習いたいと言ったらしく、小学1年生ではじめてピアノ教室に。その後、近所のお姉さんが光る横笛を吹いていたのを見て「僕も一緒に!」と、同じブラスバンド部に入部しました。しかし、その楽器の名前が分からず、先生に「コレネットがやりたいの?」と聞かれ、ニコニコしていたらその場で楽器が決定してしまったのです。「これ、トランペットじゃないか!」と。何も知らなかった私は「席替えと同じ感じで、時期が来たら楽器も変わるのかな〜」と暢気なことを考えていたのですが、そんなはずもなく、そのままトランペットを続けていました。

ホルンに転向したのは高校生になってから。最初は、顧問の先生から「(トランペットは人が足りているから)ユーフォoniumどうかな」と提案されたのです。「まあ考えてみてよ」と儀式的に持ち帰させられ、私はすっかりユーフォoniumを吹く決意を固めて、いざ先生のところへ行くと、今度は「お前の唇はユーフォじゃない、ホルンはどうだ?」と(笑)。

ホルン吹きは、「じゃあ僕がホルンをやりますよ」と空気を読んで楽器を始めるような、大らかで僕みたいな良い人が多いですからね(笑)。他のオーケストラでもホルンセクション同士とても仲が良いです。

東京交響楽団とTake a Riskと

今からちょうど10年前、東日本大震災が起こりました。あのとき、TVからCMが消え、音楽が消えました。東響のホームであるミュウザ川崎シンフォニーホールもしばらく使えない状況。まだ入団前でしたが「ああ、このオーケストラ、すごく大変な状況だな」、そして「よし、東京交響楽団に入団しよう」と決めたのを覚えています。ノット監督が言った「Take a Risk」は私のスローガンにとっても近いものがあります。安定なものよりリスクのあるものに惹かれるというような、そこに身を置きたいと思うのです。

あれから10年。このコロナ禍は大変ですが、技術の進歩、そして応援して下さる皆さんのおかげで、音楽は止まることなく過ごせています。厳しい状況は、時により良いものを生み出すこともあります。苦境と思えることもよい方向に、ポジティブに挑戦していきたいです。



トランペットを吹いていた小学生の頃。

インタビュー:事務局

日本全国のプロオーケストラとともに、コロナ禍を乗り越え、音楽文化の「灯」を次世代へ

オーケストラ7団体が チームラボボーダレスで 合同コンサートを開催！



アート集団チームラボによる境界のないアート群が連続してつながっていく「チームラボボーダレス」(東京・お台場)で、新感覚クラシックコンサートを開催しました。文化庁委託事業「文化芸術収益力強化事業」の一環として、当楽団が代表幹事団体となり、東京のみならず日本全国のオーケストラ団体で実行委員会を組織。コンサートの曲目や演出アイデアを募集し、企画・創作過程に社会の人々(聴衆)も巻き込み、立場の異なる人々が協働する「共創」によって、クラシック音楽のさらなる価値向上を目指しました。また本コンサートの入場券を電子チケットのみとし、電子チケット入場Onlyの公演としてSNS・事業報告、配信を通じ、広くアピールすることで、遅れているクラ

シック音楽業界のチケットレスをはじめとしたデジタル化を促し、Afterコロナを見据えた既存の鑑賞環境・購買環境の改善と強化の機運醸成も目指したものです。

特設サイトはこちら



文化庁

文化庁委託事業 令和2年度 文化芸術収益力強化事業「共創型」による文化芸術の高付加価値化プロジェクト
～クラシック音楽による先行モデル～



photos by T.Tairadate

アート×アート = ∞ ～共創と共奏～

2021年3月4日 19:15開演 (19:00開場)

[ヴァイオリン・ソロ] J.S.バッハ:シャコンヌ

(東京交響楽団コンサートマスター 水谷晃)

[弦楽四重奏]

メンデルスゾーン:弦楽四重奏曲 第2番 第1楽章

吉松隆:アトム・ハーツ・クラブ・カルテットより

[Allegro] [Finale] (提案採用曲)

[弦楽合奏] グリーク:ホルベルク組曲

(ホルベアの時代より) [Gavotte] Op.40-3

(実行委員会メンバーの全員による合奏 コンサートマスター:日比浩一)

- 東京交響楽団:水谷 晃(コンサートマスター) / 中村楓子(第1ヴァイオリン奏者) / 鈴木浩司(第2ヴァイオリン奏者) / 多井千洋(ヴィオラ・フォアシュベラー) / 蟹江慶行(チェロ奏者)
- 京都市交響楽団:辻 明子(第2ヴァイオリン奏者)
- 群馬交響楽団:池田美代子(首席ヴァイオリン奏者)
- 新日本フィルハーモニー交響楽団:
ビルマン聡平(首席第2ヴァイオリン奏者) / 弘田 徹(チェロ奏者)
- 東京都交響楽団:高橋洋太(コントラバス奏者)
- 名古屋フィルハーモニー交響楽団:日比浩一(コンサートマスター)
- 日本センチュリー交響楽団:巖埼友美(第2ヴァイオリン奏者)

主催

文化庁、アート×アート = ∞ 実行委員会
(プロオーケストラ7団体)

代表幹事団体

公益財団法人東京交響楽団

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団
(京都市交響楽団)

公益財団法人群馬交響楽団

公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団

公益財団法人東京交響楽団

公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団

公益財団法人日本センチュリー交響楽団

特別協力

森ビル デジタルアート ミュージアム:
エブソン チームラボボーダレス

協力

株式会社ドワンゴ / 株式会社アカシック /
playground株式会社 / 株式会社リンクステーション

後援

公益財団法人日本オーケストラ連盟 /
公益社団法人日本演奏連盟(コンサート後援)

ニコ響で
見逃し配信中!
ご視聴はこちら



NEWS & TOPICS

定期演奏会で電子チケット本格導入!

東京交響楽団の定期演奏会をはじめとした主催公演において、これまでの紙チケットに加え、スマートフォンでチケットの購入から入場まで完結させる「電子チケット」を導入いたします! 3月27日[第688回 定期演奏会]から導入をスタートし、2021シーズン1回券・選べるプランも発売中です。詳細は公式サイトからご覧ください。



好評配信中 /

東京交響楽団presentsオーケストラ新春お年玉コンサート

今年1月に開催された、オーケストラや音楽の秘密を紐解く子ども向け演奏会「新春お年玉コンサート」をWEB公開致しました。3月末までの限定公開ですので、お見逃しなく!

指揮:梅田俊明 / テューバ独奏:渡辺功 / ナビゲーター:野口綾子

ご視聴は
こちら



NEWS & TOPICS

音楽監督 ジョナサン・ノット指揮 特別演奏会開催決定!

音楽監督ジョナサン・ノット自身のキャリアの中で初めて挑む「悲愴交響曲」や、ブルックナー：《交響曲 第6番》など、昨年コロナ禍で演奏が叶わなかった曲目を含めて新たにプログラミングをし、「特別演奏会」としておおくり致します。



5月22日(土) 14:00開演(13:15開場)

東京オペラシティコンサートホール

指揮=ジョナサン・ノット

ヴィオラ=ディミトリ・ムラト

ベリオ:声(フォーク・ソングII)

チャイコフスキー:交響曲 第6番「悲愴」

5月27日(木) 18:30開演(17:45開場)

ミュゼザ川崎シンフォニーホール

指揮=ジョナサン・ノット/ピアノ=児玉麻里

ヴァイオリン=グレブ・ニキティン(東京交響楽団コンサートマスター)

リゲティ:ラミフィケーション(弦楽合奏版)

ベルク:室内協奏曲

ブルックナー:交響曲 第6番

一般販売: 4/6(火) 11:00 東響会員先行販売: 3/30(火) 11:00

3月末まで!坂本九生誕80周年記念事業 「明日があるさ」動画公開

川崎市出身の坂本九さん生誕80周年にあたり、川崎市が一体となって、コロナ禍において前向きになれる坂本九さんの名曲『明日があるさ』を、さまざまなジャンルの方々と共に歌いつなぎました。当団は、ホームであるミュゼザ川崎シンフォニーホールから、事務局の尾木貴雄が出演。3月末までの公開ですので、是非ご覧ください。



入 団

2021年2月1日付

坂本 佳織

Kaori Sakamoto [トランペット奏者]

退 団

2021年3月10日付

松崎 里絵

Rie Matsuzaki [ヴィオラ奏者]



2021年3月10日付

大和田 ルース

Ruth Owada [第1ヴァイオリン奏者]

1995年10月に入団し、25年にわたり活躍しました。このたび定年を迎え、退団致します。

1987年12月に入団し、定年後再雇用契約を経て33年にわたり活躍しました。

正 団 員

2021年1月1日付

小川 博司

Hiroshi Ogawa [事務局 企画制作本部]

NEXT PROGRAM

4/17(土) 第689回 定期演奏会
原田慶太楼 東京交響楽団
正指揮者就任記念コンサート
6:00p.m. サントリーホール

- 指揮:原田慶太楼
- ヴァイオリン:服部百音
- ティケリ:ブルーシェイズ
- バーンスタイン:セレナード
- ショスタコーヴィチ:交響曲第10番 ホ短調 op.93

S席 ¥7,000 A席 ¥6,000 B席 ¥5,000
C席 ¥4,000 P席 ¥2,500



TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511 (当番の間、平日11:00~16:00 土日祝休)

“今だからこそできること”を考えたときに「作曲家が今の僕と同じ年齢の時に作った曲を」という気持ちがありました。「セレナード」はバーンスタインが36歳の時の作品。そしてこの曲とほぼ同時期に初演され“人物”を題材とする共通点を持つショスタコーヴィチ第10番。私が渡米後初めて演奏した作曲家であるティケリは、まだ日本のオーケストラで取り上げられることが少ないので、紹介したいと考えました。私のルーツと、クラシックにジャズ、映画音楽まで、オールマイティに取り組みたいという今後の方向性を込めたプログラムです。

————— 原田慶太楼

5/9(日) 新潟定期演奏会 第119回
5:00p.m. “リゅーとぴあ”コンサートホール

次回の新潟
定期演奏会は…

※5/8(土)第690回定期演奏会 6:00p.m. サントリーホールでも同プログラムで開催

- 指揮:ジョナサン・ノット
- アダムス:ザ・チェアマンダンス (歌劇「中国のエクソン」より)
- ドビュッシー:遊戯
- マーラー:交響曲第1番「巨人」

S席 ¥7,500 A席 ¥6,000 B席 ¥4,500
C席 ¥3,000 D席 ¥2,000



お問い合わせは、リゅーとぴあチケット専用ダイヤル025-224-5521 (11:00~19:00/休館日除く)へ

東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ
新潟市準フランチャイズオーケストラ
＜提携＞公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団

公式サイト <http://tokyosymphony.jp>



1946年、第二次世界大戦によって中断された音楽文化の再建と、新しい舞台音楽の公演を目標に「東宝交響楽団」として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。

現代音楽やオペラの初演に定評があり、これまでに文部大臣賞、京都市音楽大賞、文化庁芸術作品賞、モービル音楽賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞など日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。2020年3月第32回ミュージック・ペンクラブ音楽賞「オペラ・オーケストラ部門」[室内楽・合唱部門(東響コーラス)]をW受賞した。

2014年度シーズンより、ジョナサン・ノットが第3代音楽監督に就任。音楽監督と共に3年がかりで取り組んだ「モーツァルト 演奏会形式オペラシリーズ」や、ミュージック・ペンクラブシンフォニーホール開館15周年記念公演「グレの歌」はいずれも高い評価を得た。2019年にはジョナサン・ノット指揮「マーラー：交響曲第10番&ブルックナー：交響曲第9番」が第31回「ミュージック・ペンクラブ音楽賞優秀録音作品賞」を受賞。音楽誌「音楽の友」の「41人の音楽評論家・記者が選ぶ「コンサート・ベストテン2019」」にて、最多3公演が選出され注目を集めた。

ITへの取り組みも積極的で、[VRオーケストラ]や[LIVEチケット]の導入、日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サービス「TSO MUSIC&VIDEO SUBSCRIPTION」をスタートしたほか、2020年3月にニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴し注目を集めた。また、録音や放送においても活発で、テレビ朝日「題名のない音楽会」レギュラー出演や、TOKYO SYMPHONYレーベル、N&Fレーベル、キングレコード、EXTONレーベル、日本コロムビア等からCDを多数リリースしている。

舞台芸術創造活動活性化事業として文化庁の助成を受け、サントリーホール、ミュージック・ペンクラブシンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市とフランチャイズ、新潟市と準フランチャイズ、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団とパートナーシップ提携し、コンサートやアウトリーチなどを積極的に展開している。これら地域に密着した活動の一方で、海外においてもウィーン楽友協会での公演や日中平和友好条約締結40周年記念公演等58都市で78公演を行い、国際交流の実を挙げた。また、新国立劇場では1997年の開館時からレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演に出演。さらに、子どものための演奏会にもいち早く取り組んでおり、「10歳からのオーケストラ」[この日も定期演奏会(サントリーホールとの共催)]は多方面から注目されている。

東日本大震災を機に、2011年5月から楽団員によるチャリティコンサート「Concert For Smiles」を定期的に開催。その募金は(公財)国際開発支援財団を通じて被災地に役立てられている。

Jonathan Nott began his tenure as the 3rd Music Director of the Tokyo Symphony Orchestra in 2014 season. Mo. Nott and the Orchestra won the he Best Recording of Music Pen club Japan Award for Opera & Orchestra category and Tokyo Symphony Chorus, Orchestra' s amateur chorus also won the prize for Chamber & Chorus category.

Highlights of past seasons with Mo. Nott include Symphony 9 by Beethoven Gurre-Lieder by Schoenberg celebrating 15th Anniversary of Muza Kawasaki Symphony Hall, TSO' s home and Mozart' s Da Ponte Operas in concert style. In 2018, TSO launched "TSO Music & Video Subscription", first-ever digital project in Japanese Orchestras, which provides live-concert video and music as well as CD recording. In March 2020, the live-streamed concert without audience on nico-nico Live Channel which attracted more than 200,000 viewers nationwide, has been a mega-hit in Japan.

Outside of Japan, the orchestra has performed 78 concerts in 58 cities since 1976. In 2016, the Tokyo Symphony Orchestra celebrated its 70th anniversary and took a European tour including the concert at Musikverein Großer Saal in Vienna with Mo. Nott. In August 2018, in commemoration of the 40th anniversary of the Conclusion of the Treaty of Peace and Friendship between Japan and China, the Orchestra had concerts in Shanghai and Hangzhou and received high praise. The Tokyo Symphony Orchestra was founded in 1946 and has a reputation for giving first performances of a number of contemporary music and opera. Through these activities, the orchestra has received most of Japan' s major music awards such as the Minister of Education Award, the Grand Prix of Kyoto Music Award, Mainichi Art Award, Agency for Cultural Affairs Art Award, Suntory Music Award and Kawasaki City Culture Award.

Since becoming the resident orchestra of the City of Kawasaki in 2004, a semi-resident orchestra agreement with the City of Niigata in 1999, and a partnership agreement with Hachioji College Community & Culture Fureai Foundation in 2013, the orchestra has been enthusiastic for school concerts and community concerts. The Tokyo Symphony Orchestra has been regularly performing various operas and ballets at the New National Opera Theatre, Tokyo since its opening in 1997.

マエストロ・シート

【5組10名の小・中・高校生無料招待】



NICO NICO
TOKYO SYMPHONY
ニコニコ東京交響楽団



音楽・動画配信サイト
「TSO MUSIC & VIDEO
SUBSCRIPTION」

1か月500円(税別)



このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサル・デザインフォントを使用しております。

Tokyo Symphony Orchestra Monthly Concert Broadcast
Symphony

Symphony 2021年(令和3年)1月号 [非売品]

発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764

＜川崎オフィス＞ 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310

ミュージック・ペンクラブタワー5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHKビジネススクエアト